

令和5年度 第1回鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会 次第

令和5年5月24日(水)

14:00～15:00

開催方法：オンライン (Zoom)

1. 協議会 議題内容

(1) 開会

(2) 議事

1. 協議事項

①モデルルート（錦江湾奥ルート）の承認について・・・・・・・・・・資料1

【説明者：錦江湾奥会議 観光専門部会 事務局 始良市 商工観光課 永田課長補佐
兼観光係長】

②サイクルモデルルートに係る走行環境整備方針について・・・・・・・・・・資料2

【説明者：鹿児島県 観光・文化スポーツ部 PR 観光課 東條 主幹】

2. 報告事項

①令和5年度事業計画について・・・・・・・・・・資料3、別紙1～3

【説明者1：鹿児島県 観光・文化スポーツ部 PR 観光課 東條 主幹】

【説明者2：鹿児島県 大島支庁 総務企画課 商工観光係 納山 係長】

(3) 閉会

【会議資料】

- ・ 資料1 モデルルート（錦江湾奥ルート）の承認について
- ・ 資料2 サイクルモデルルートに係る走行環境整備方針について
- ・ 資料3 令和5年度事業計画について
- ・ 別紙1 かごしまサイクルステーションチラシ
- ・ 別紙2 鹿児島県サイクリストに優しい宿チラシ
- ・ 別紙3 鹿児島県サイクルステーション等整備支援事業補助金チラシ
- ・ 別紙4 鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会規約
- ・ 別紙5 令和5年度 第1回鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会 参加者名簿

※協議事項の承認については、本協議会終了後の議事録・各種資料の配信時に、受託事業者である ANA あきんど担当者よりご案内いたしますので、ご回答をよろしくお願いたします。

🚲 協議事項 1 モデルルート（錦江湾奥ルート）の承認について

1 錦江湾奥会議について

- (1) 薩摩半島と大隅半島にはさまれ、日本百景にも選定されている錦江湾の湾、奥部に位置する自治体が、それぞれの行政区域を越えて連携し、環境、水産、観光、交通、防災、教育等に係わる様々な施策・事業について、お互いに知恵を出し合い、協働することにより、地域活性化を図ることを目的に、「錦江湾奥会議」として、その湾奥部と桜島周辺に位置する4市が、それぞれの行政区域を越えた広域連携を目指すため、平成23年8月22日に発足しました。
- (2) 構成市
鹿児島市・垂水市・霧島市・始良市



2 サイクルツーリズムについて

(1) 経過

日付	会議名	開催地	内容
R5.2.16	令和4年度第2回 鹿児島県サイクル ツーリズム推進協議会	鹿児島市 オンライン	錦江湾奥地域部会 設置承認
R5.4.11	令和5年度第1回 錦江湾奥会議観光専門部会 (錦江湾奥地域部会)	垂水市	錦江湾奥サイクルルート (案)の承認

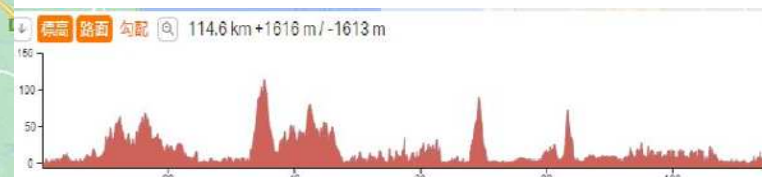
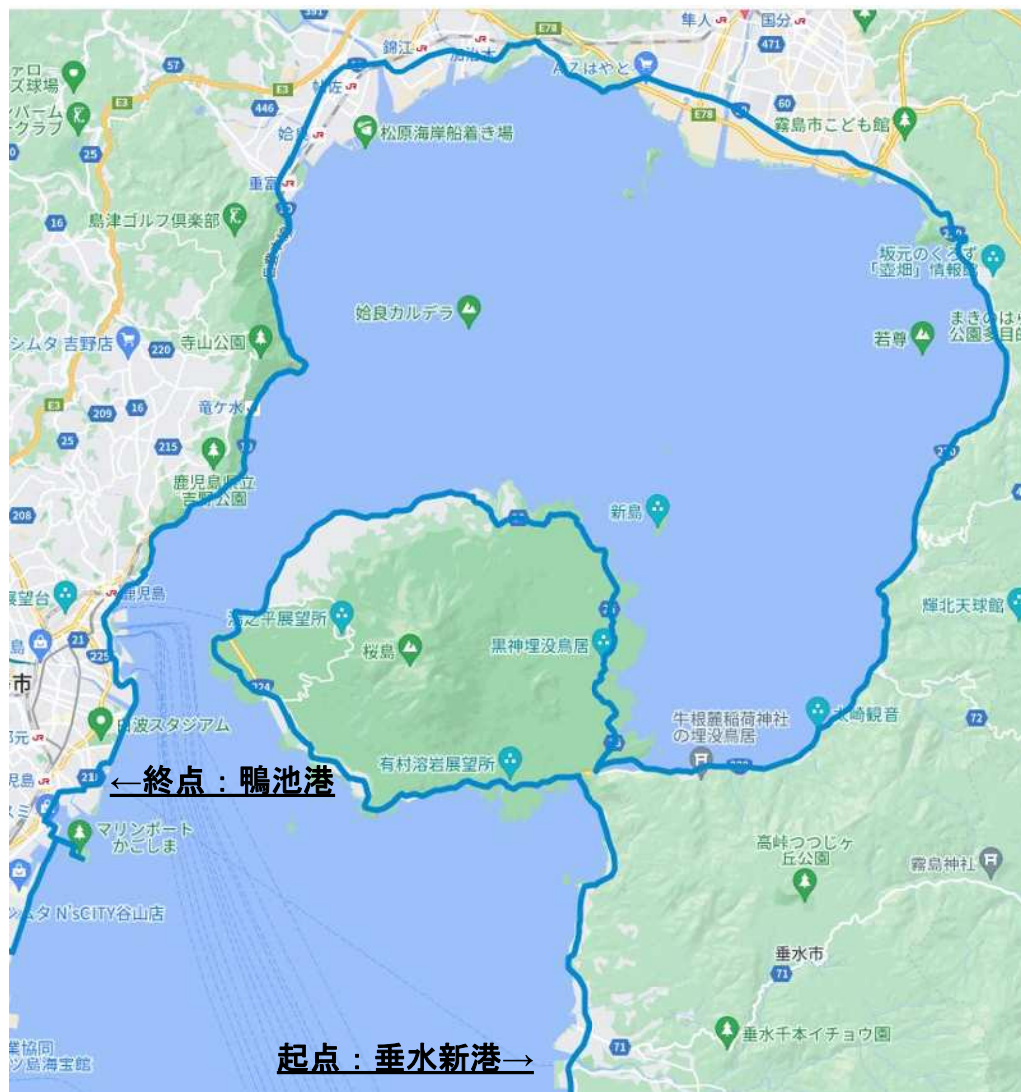
(2) サイクルルート（案） 次頁参照

(3) 今後の取組

令和5年度 県サイクルツーリズム推進協議会及び他地域部会と連携し、サイクルホームページへの掲載などで地域の魅力を発信することにより、錦江湾奥地域だけでなく県内全域への自転車による周遊観光を推進し、交流人口の拡大を推進する。

🚲 錦江湾奥サイクルルート（案）

錦江湾奥ルート（総走行距離：約114.6km）



ルート関連情報

- ◆意義
湾奥地域に特化した部会で、錦江湾奥ルートの魅力を発信
- ◆起点 垂水新港
終点 鴨池港
- ◆進行方向 垂水新港→鴨池港
(錦江湾沿いを反時計回り)
- ◆特長
桜島及び錦江湾奥を一周できるルート
【九州・山口広域推奨ルート：ルート6（九州・山口サイクルツーリズム推進委員会作成）の一部】
※R2.11.3、11.8に九州・山口サイクルツーリズム広域推奨ルート設定検討委員会で試走済み。
- ◆走行環境
交通量が多いところがあるが、錦江湾や桜島を満喫できるルート

協議事項 2 : サイクルモデルルートに係る走行環境整備方針 (案) について

資料2

1 矢羽根 (青色 【参考】 マンセル値 5PB 4/10)

区分		鹿児島県	考え方 (根拠)	ガイドライン ^{※1}	福岡県	宮崎県	
進行方向	単路部	100m毎に10m間隔で2箇所	全国事例によりガイドライン以上の間隔とし、ナショナルサイクルルートの基準に準拠する。	10m間隔	500m毎に10m間隔で2箇所	60~120m間隔 (上下千鳥)	
	交差点部 (直進)	【導入部】 停止線50m手前より10m間隔 【交差点内】 表示なし	左折する自動車に対する注意喚起を目的として、単路部より密にする。福岡県基準を参照。	交差点部などの自動車と自転車の交差の機会が多い区間や、事故多発地点などでは設置間隔を密にする	【導入部】 停止線50m手前より10m間隔 【交差点内】 表示なし	【導入部】 20m間隔 【交差点内】 10m間隔	
	交差点部 (右左折)	【導入部】 停止線50m手前より10m間隔 【交差点内】 表示なし	自動車に対する注意喚起を目的として、単路部より密にする。福岡県基準を参照。	交差点部などの自動車と自転車の交差の機会が多い区間や、事故多発地点などでは設置間隔を密にする	【導入部】 停止線50m手前より10m間隔 【交差点内】 表示なし	停止線50m手前より10m間隔	
	カーブ区間	10m間隔	見通しの悪い区間は、自転車と自動車による事故の危険性が高いため、単路部より密にする。福岡県基準を参照	交差点部などの自動車と自転車の交差の機会が多い区間や、事故多発地点などでは設置間隔を密にする	10m間隔	40m間隔	
	カーブ区間 (見通しの良い緩やかなカーブ)	100m毎に10m間隔で2箇所	見通しの良いカーブ区間は、単路部と同等とする。	交差点部などの自動車と自転車の交差の機会が多い区間や、事故多発地点などでは設置間隔を密にする	—	—	
横断方向	歩道あり	路肩に十分な幅員あり	路肩内に設置	ガイドライン ^{※1} 参照	矢羽根の右端が路肩端から1m以上の位置	路肩内に設置	原則外側線の内側
		路肩に十分な幅員なし	原則車道内外側線の下に重複可	ガイドライン ^{※1} 参照	矢羽根の右端が路肩端から1m以上の位置	原則車道内外側線の下に重複可	原則外側線の内側
	歩道なし	路肩に十分な幅員あり	車道内に設置	ガイドライン ^{※1} 参照	矢羽根の右端が外側線から車道内に1m以上の位置	車道内に設置	原則外側線の内側
		路肩に十分な幅員なし	車道内に設置	ガイドライン ^{※1} 参考 ただし、矢羽根のサイズを縮小したもので検討する。	矢羽根の右端が外側線から車道内に1m以上の位置	設置しない	原則外側線の内側

※1 安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン (平成28年7月 国土交通省道路局, 警察庁交通局)

2 自転車ピクトグラム

区分		鹿児島県
進行方向	単路部	500m間隔を基本とする
	交差点部	停止線50m手前 矢羽根の直前に1箇所

矢羽根 <標準形>

幅=0.75m以上^{※1}
長さ=1.50m以上
角度=1:1.6

道路幅員が狭く、歩行者を優先させる道路(生活道路など)では、必要に応じて、以下を採用。

幅=0.75m
長さ=0.60m
角度=1:0.8

自転車ピクトグラム

0.75m以上



R5年度 鹿児島県サイクルツーリズム の取組について

- 1 鹿児島県サイクルツーリズム推進事業に係る事業計画
- 2 九州・山口サイクルツーリズム
- 3 ディスカバー九州
- 4 奄美群島サイクルツーリズム構築事業

【サイクルツーリズムの推進フェーズ】

	<R3年度>	<R4年度>	<R5年度～>
九州・山口サイクルツーリズム	<ul style="list-style-type: none"> ○九州・山口サイクルツーリズム広域推奨ルートを受入環境整備 ○サイクルマップ等の情報発信 		<ul style="list-style-type: none"> ○旅行商品造成をはじめとしたサイクルツーリズムの推進
県サイクルツーリズム	<ul style="list-style-type: none"> ○県サイクルツーリズム推進協議会の設置 ○サイクルツーリズムロゴマークの設定 (R3) ○県内モデルルートの設定, 県内モデルルートを受入環境整備, 県内モデルルートの情報発信 		

① 県内モデルルートの設定

県サイクルツーリズム推進協議会を設置 (R3. 7) し、離島を含む県内モデルルートについて検討・設定。

- R3年度：4ルート (北薩摩2, 屋久島, 種子島)
- R4年度：19ルート (九州4, 北薩摩, 南薩, 霧島・始良, 大隅, 大島11)
- R5年度：1ルート程度 (錦江湾奥) 【予定】

<モデルルートイメージ>

- ・複数市町村を跨がる広域ルート (離島を除く)
- ・使用自転車はスポーツタイプを想定。
- ・スポーツイベント時だけでなく、通年でサイクルを楽しめるルート

<モデルルートの充実>

- ・設定したモデルルートは適宜見直しを行い、立ち寄りスポットの追加や枝ルートの設定など、内容を充実



② サイクリストの受入環境整備

- 県内の観光スポット、宿泊施設等においてサイクルスタンド等を整備。
- 矢羽根、路面案内等の整備
 - ・安全で快適な自転車利用空間の提供のための路面標示 (矢羽根), 路面案内, 案内標識等を整備。
- 鉄道や空港と連携した受入環境の充実
 - ・サイクルトレイン, サイクルバスの運行, 空港, 主要駅での組立てスペースの確保等の協力要請。



③ 効果的な情報発信

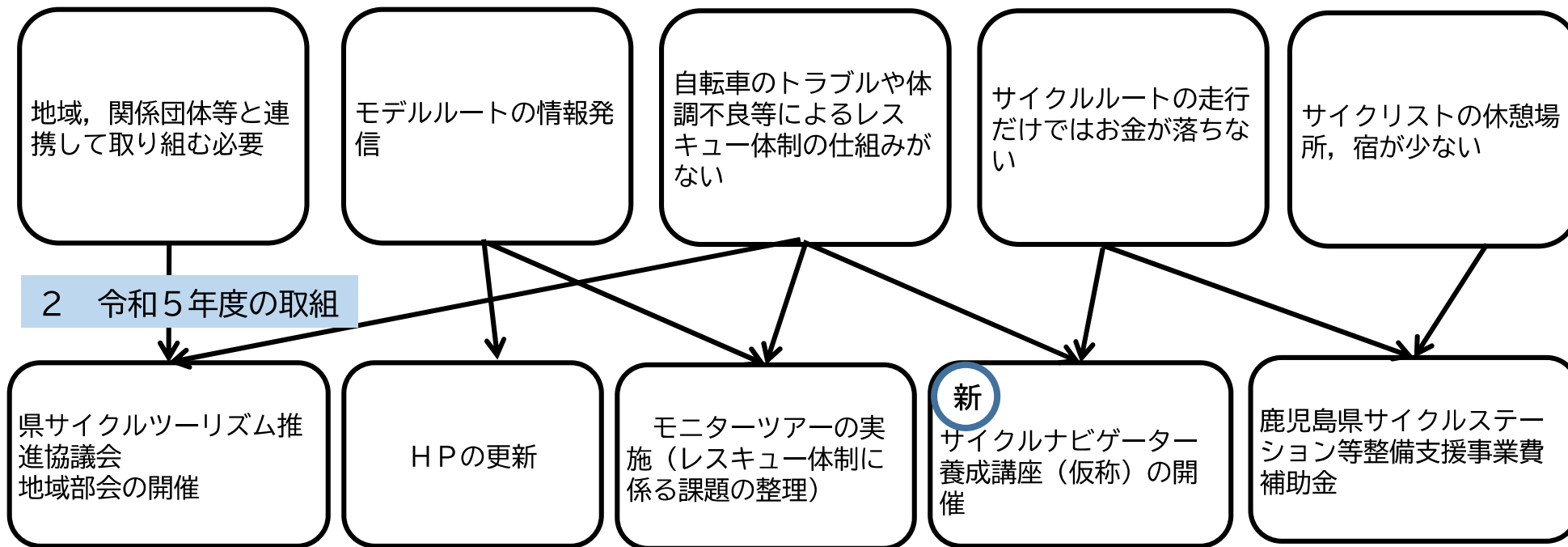
- 県観光HP内に特集ページを開設し、各モデルルートや周辺の立ち寄りスポットなどを情報発信。また、県内市町村のサイクリング特集HPとのリンクにより情報を共有。
- 国内外の旅行社、インフルエンサー招聘による県内モデルルート情報を発信。
- 国内外の旅行社等へのツアー造成の働きかけ。

1 鹿児島県サイクルツーリズム推進事業に係る事業計画について

資料3

1 サイクルツーリズム推進に係る課題

実施主体：PR観光課



(参考) R3・4年度の実施

- ①県サイクルツーリズム推進協議会及び地域部会の開催
- ②県モデルルートの設定
- ③サイクルセミナーの実施
- ④サイクルロゴマークの設定
- ⑤サイクルツーリズム特集ホームページの作成
- ⑥モニターツアーの実施
- ⑦かごしまサイクルステーション及び鹿児島県サイクリストに優しい宿登録制度
- ⑧鹿児島県サイクルステーション等整備支援事業費補助金



2 九州・山口サイクルツーリズムについて

資料3

実施主体：九州・山口サイクルツーリズム推進委員会

- 平成30年度から、九州・山口各県、経済界と連携し、九州・山口が「走ってよし、訪れてよし」の魅力的なサイクリングエリアになることを目指し、県域を跨ぐ広域推奨ルートの設定をはじめとする取組みを実施している。
- 2023年ツール・ド・九州、ディスカバー九州開催に向けて、機運を醸成するとともに、ナショナルサイクルルートの指定に向けて各県で協調して受入環境整備を促進。

【事業推進フェーズ】

第Ⅰ段階
(2019～2020年度)

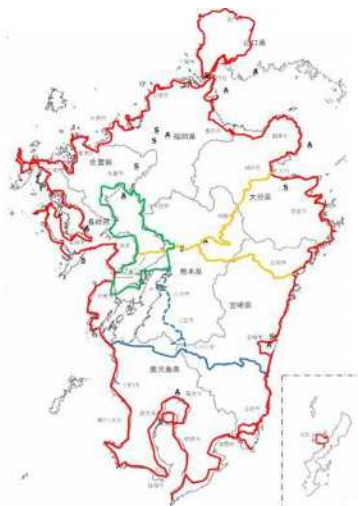
広域推奨ルートの設定

第Ⅱ段階
(2021～2022年度)

広域推奨ルートの受入環境整備
サイクルマップ等の情報発信

第Ⅲ段階
(2023年度～)

旅行商品造成をはじめとした
サイクルツーリズムの推進



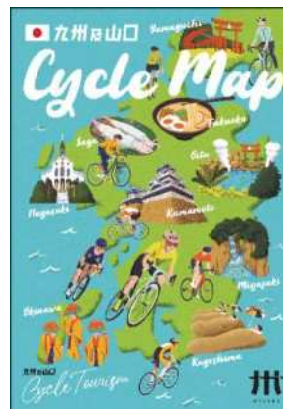
ルート名	
■	九州・沖縄・山口一周ルート
■	九州北部横断ルート
■	九州南部横断ルート
■	有明海一周ルート

九州山口の広域推奨ルートに活用した
本県の広域サイクリングルート

- 九州・沖縄・山口一周ルート
 - 福岡・糸島ルート（一部）
 - 志賀島・宗像・直方ルート（一部）
 - 芦屋・北九州・京築ルート（一部）
- 有明海一周ルート
 - 那珂川・大牟田ルート（一部）



日本語版サイクルマップ



繁体字版サイクルマップ
(台湾旅行泊で配布)

ナショナルサイクルルート指定に
向けた取組の推進

- ・アクションプラン策定
- ・各県が協調し受入環境・走行
環境整備を推進

2023年～(毎年開催)
ツール・ド・九州
ディスカバー九州開催

3 ディスカバー九州について

実施主体：ディスカバー九州推進委員会

資料3

国際サイクルロードレース「ツール・ド・九州」の開催にあわせて、九州・沖縄・山口各地域にて催行されるサイクリング周遊型旅行商品

実施主体	ディスカバー九州推進委員会（会長：九州観光機構会長）
実施時期	令和5年4月～令和6年3月
実施内容	①国内および海外を対象とした九州・沖縄・山口のサイクリング周遊型旅行商品の造成・販売・催行 ②国内および海外（台湾をはじめとしたアジア地域・欧米豪）のサイクルファンへの九州の認知度向上、九州・沖縄・山口の魅力発信
商品内容 (本県のルートのみ抜粋)	令和5年4月にHPで掲載されている全48ツアーのうち、本県を通過するものは下記のとおり <欧米> ・南部九州コース 13泊14日 ・西海コース 13泊14日 <アジア> ・南部九州コース 7泊8日 <国内> 全て日帰り ・田園風景を守る田の神様を訪ねるライド ・薩摩藩島津の幕末歴史ライド ・火山が生んだ神秘の湖カルデラライド ・桜島の最高到達点へ！溶岩源めぐりライド

ディスカバー九州公式ホームページ

URL：
<https://cyclingisland-kyushu.com/index.html>



【参考】国際サイクルロードレース「ツール・ド・九州」について

九州の経済団体トップと各県知事で構成される九州地域戦略会議において、ラグビーワールドカップのレガシーの持続的継承や九州でのサイクルツーリズムの推進、近年九州を襲った自然災害からの復興を象徴するイベントとして開催を決定したUCI(国際自転車競技連合)公認のサイクルロードレース

第1回大会は2023年10月6日(金)～9日(月・祝)に福岡県、熊本県、大分県で開催。

●第1回大会概要

- ・ 名称 マイナビ ツール・ド・九州2023
- ・ 主催 ツール・ド・九州2023実行委員会
一般社団法人ツール・ド・九州

ルートの詳細 (1) : South Kyushu (南部九州)

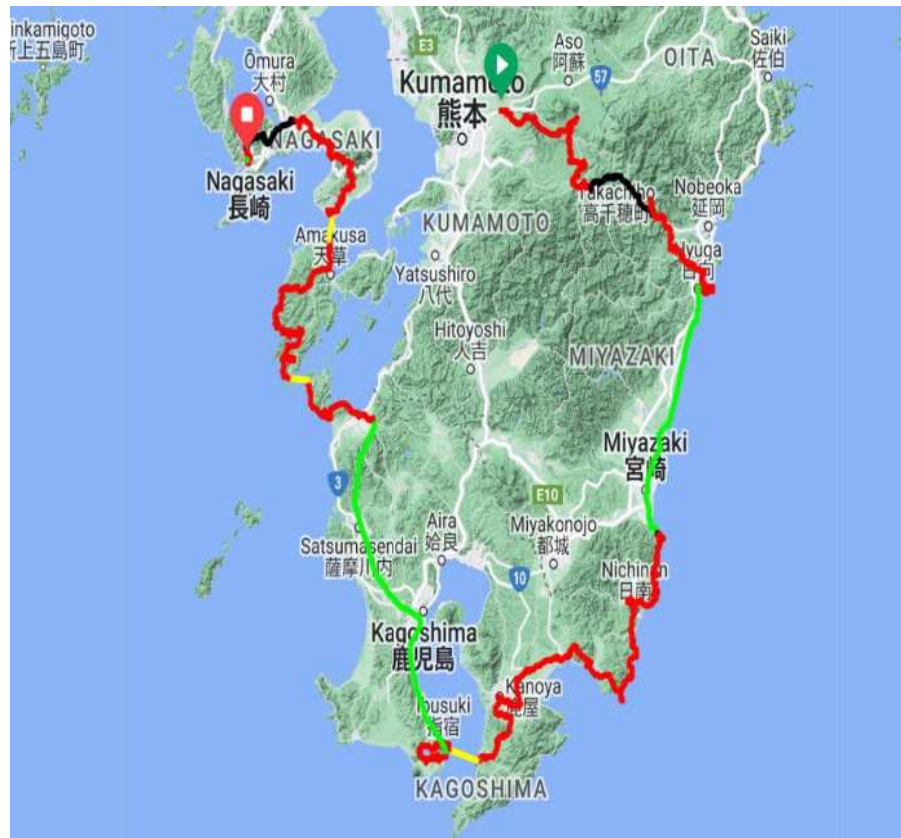
資料3

欧米向け

販売価格 (概算) ※国際航空券含まず	750,000円~
旅行日数	13泊14日 (前泊含む)
最少催行人員 (最大募集人員)	2名~ (8名)
設定時期	秋 : 7-11月 春 : 3-5月
商品内容公開 (セールス開始時期)	4月~

日本神話の起源と日本の皇室の血統が確立された九州南部を旅します。日本の伝説が語り継がれる崖、山道、さらには火山を旅します

自転車 サポートカー 電車 フェリー



対象市場	調査ルート	DAY1	DAY2	DAY3	DAY4	DAY5	DAY6	DAY7	DAY8	DAY9	DAY10	DAY11	DAY12	DAY13															
欧米 豪	エリア	熊本県	熊本県	宮崎県	宮崎県	宮崎県	宮崎県	宮崎県	鹿児島県	鹿児島県	鹿児島県 熊本県	熊本県	熊本県 長崎県	長崎県															
	訪問地	入国	大津 南阿蘇	高森	高森	五ヶ瀬 高千穂	高千穂	比叡 日向	日向	宮崎 青島	鶴戸 日南	飫肥	飫肥	都井岬 串間	志布志 鹿屋	指宿	指宿	池田湖 鹿児島	出水 長島	牛深	崎津	妙見浦	下田	天草	島原	雲仙	雲仙	諫早	長崎
	宿泊地	熊本 (前泊)	高森	高千穂	日向	青島	飫肥	串間	指宿	鹿児島	天草	下田	雲仙	長崎															

ルートの詳細 (2) : Western Seas Islands (SAIKAI 西海) Course

欧米向け

販売価格 (概算) ※国際航空券含まず	750,000円~
旅行日数	13泊14日 (前泊含む)
最少催行人員 (最大募集人員)	2名~ (8名)
設定時期	秋 : 7-11月 春 : 3-5月
商品内容公開 (セールス開始時期)	4月~

九州エリアには何百もの島があり、このツアーでは最も素晴らしい島のいくつかをご案内します。これらの隠された宝石にたどり着くために自転車と海で旅することは、決して忘れられない冒険になります！



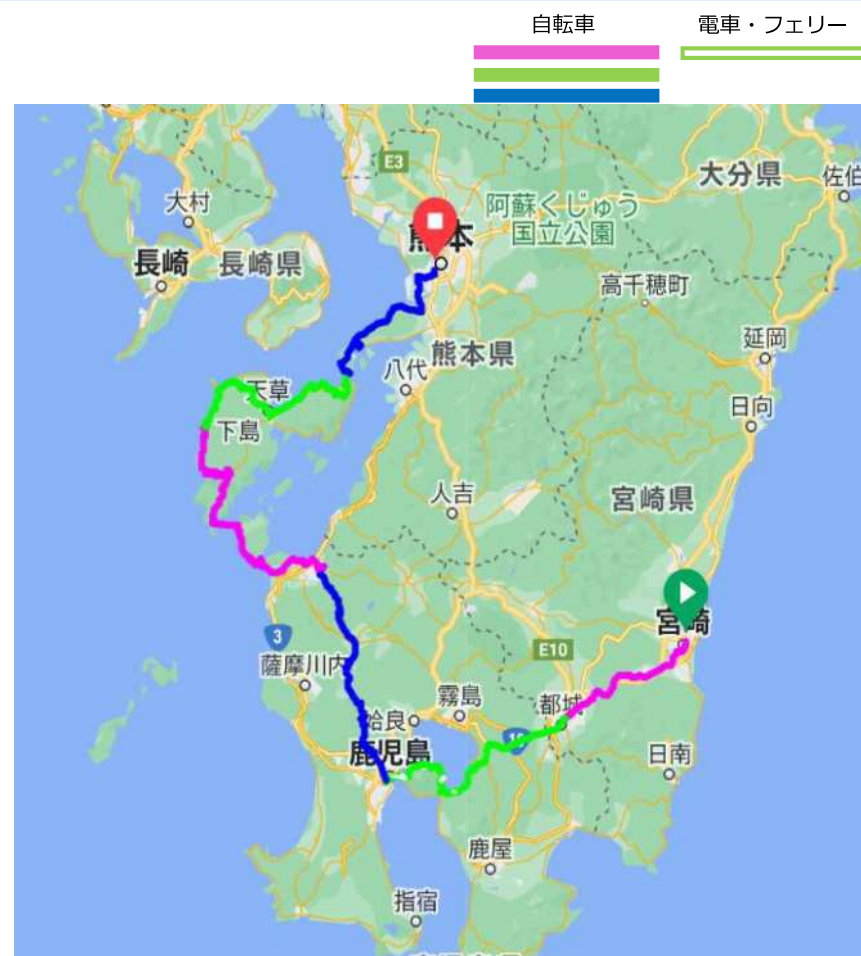
対象市場	調査ルート	DAY1	DAY2	DAY3	DAY4	DAY5	DAY6	DAY7	DAY8	DAY9	DAY10	DAY11	DAY12	DAY13																								
欧米家	エリア	鹿児島県		鹿児島県		鹿児島県 熊本県		熊本県	熊本県	長崎県	長崎県	佐賀県	長崎県	長崎県	長崎県																							
	西海 訪問地	入国	鹿児島	桜島	鹿児島	出水	長島	牛深	崎津	妙見	浦下	下田	天草	南有馬	南有馬	西有家	雲仙	雲仙	千々岩	諫早	武雄	伊万里	博多	福江	富江	荒川	荒川	三井	福江	奈良尾	青方	有川	若松	奈良尾	福江	崎山	鑑瀬	長崎
	宿泊地	鹿児島 (前泊)	鹿児島		天草		下田	島原	雲仙	諫早	フェリー泊 (博多港発)	五島	五島	上五島	五島	長崎																						

ルートの詳細 (3) : South Kyushu_2

アジア向け

販売価格 (概算) ※国際航空券含まず	300,000円～
旅行日数	7泊8日 (前泊含む)
最少催行人員 (最大募集人員)	4名～ (12名)
設定時期	春 : 4 - 5月 秋 : 9 - 11月
商品内容公開 (セールス開始時期)	3月～

Day2	都城
Day3	桜島、鹿児島島の歴史
Day4	八重の里、鷹子神社の埋没鳥居、入来麓武家屋敷群
Day5	出水鶴の飛来地、天草
Day6	天草の自然、食、夕日
Day7	熊本の歴史、熊本城



対象市場	調査ルート	DAY1	DAY2	DAY3	DAY4	DAY5	DAY6	DAY7	
アジア	南部九州2	エリア	宮崎県	宮崎県	宮崎県/鹿児島県	鹿児島県	鹿児島県/熊本県	熊本県	熊本県
	訪問地	入国	宮崎 青井岳 都城	都城 桜島 鹿児島	鹿児島 さつま 出水	出水 崎津集落 天草	下田 イルカ鑑賞 上天草	三角 長部田海床路	熊本市内
	宿泊地	(前泊) 宮崎市内	都城市内	鹿児島市内	出水市内	下田温泉	上天草市内	熊本市内	

ルートの詳細 (4) : 国内向けコース

資料 3

田園風景を守る田の神様を訪ねるライド(南さつま市)



薩摩藩島津の幕末歴史ライド(鹿児島市)



火山が生んだ神秘の湖カルデラライド(指宿市)



桜島の最高到達点へ！溶岩源めぐりライド(鹿児島市)



4 奄美群島サイクルツーリズム構築事業に係る事業計画について

資料3

(1) 目的

実施主体：大島支庁総務企画課

新しい観光スタイルとして、自転車を活用した観光振興(サイクルツーリズム)が注目されている。

奄美群島は、極めて多様で固有性の高い亜熱帯生態系や絶滅危惧種の生息地であり、様々なコース設定により、奄美ならではの自然や文化に触れ合えることができる。

そこで、九州地方知事会による九州・山口サイクルツーリズム広域推奨ルートの設定や世界自然遺産の登録を踏まえ、奄美群島でのサイクルツーリズムをさらに推進し、奄美群島への交流人口の拡大や観光消費額の拡大を図る。

(2) 事業内容

① サイクルツーリズムの構築に向けた協議会の運営

モデルコースや受入体制、情報発信など、関係者間の情報共有や取組方針について、各島におけるサイクルツーリズム事業についての協議の場として、協議会を運営する。

ア 開催場所

奄美大島、喜界島、徳之島、沖永良部島、与論島

イ 内容

- ・ 奄美群島各島でのサイクルツーリズム事業についての協議
- ・ 奄美群島各島でのサイクルツーリズム事例紹介

ウ 協議会の構成メンバー(イメージ)

飲食宿泊業、自転車店、交通事業者、観光事業者、商工団体、スポーツ団体、観光協会、地域の自転車愛好家、警察、市町村(観光関係の部署や道路関係の部署)等

② 情報発信

奄美群島各島のサイクルツーリズムに関する情報発信を行う。

- ・ モデルコースのサイクリングフライヤーの作成
- ・ プロモーション(検討中) など



かごしまサイクルステーション



鹿児島県では県内に訪れるサイクリストが休憩などで気軽に立ち寄っていただける施設を「かごしまサイクルステーション」として登録しています。

サイクリストにやさしいまちづくりにご協力いただける方の応募をお待ちしております。

登録対象施設

鹿児島県内の道の駅, 観光施設, 飲食店など
(原則, 個人宅は除きます)

宿泊施設については, 「鹿児島県サイクリストに優しい宿」登録制度にご応募ください。

登録要件

【必須サービス】

- ① サイクルラックの設置
- ② スポーツサイクル対応の空気入れの貸し出し
- ③ 水分補給が可能(自動販売機の設置等)
- ④ トイレ利用が可能

登録のメリット

- ・県観光サイト等で「かごしまサイクルステーション」として広報します。
- ・「かごしまサイクルステーション」として目印となるステッカー, のぼり旗を交付します。

【問い合わせ先】

鹿児島県観光・文化スポーツ部PR観光課

TEL: 099-286-3045

MAIL : kg-tourism@pref.kagoshima.lg.jp

様式は県ホームページからダウンロードできます。

鹿児島県 サイクルツーリズム で検索

鹿児島県サイクリストに優しい宿



鹿児島県では県内に訪れるサイクリストが安心して宿泊できる宿を「鹿児島県サイクリストに優しい宿」として登録しています。

サイクリストに優しいまちづくりにご協力いただける方のご応募をお待ちしております。

登録対象施設

鹿児島県内のホテル, 旅館, 民宿等の宿泊施設

登録要件

【必須サービス】

- ①室内(フロント, ロビー, 客室等)で自転車の預かり・保管が可能であること
- ②フロント等にて荷物の保管が可能であること
- ③洗濯が可能であること(近隣のコインランドリーの案内でも可)

登録のメリット

- ・県観光サイト等で「鹿児島県サイクリストに優しい宿」として広報します。
- ・「鹿児島県サイクリストに優しい宿」として目印となるステッカーを交付します。

【問い合わせ先】

鹿児島県観光・文化スポーツ部PR観光課

TEL:099-286-3045

MAIL : kg-tourism@pref.kagoshima.lg.jp

様式は県ホームページからダウンロードできます。

鹿児島県 サイクルツーリズム で検索

県内観光関係事業者のサイクルツーリズムのための
受入環境整備を応援します！



鹿児島県サイクルステーション等 整備支援事業費補助金

本県のサイクルツーリズムを推進するため、自転車による観光客の利便性向上を目的として、サイクルスタンド等の整備に関する事業を実施する事業者等に対し、予算の範囲内で補助金を交付します。

1

補助対象者



鹿児島県内の市町村，観光協会，観光地域づくり団体及び観光関連事業者とします。

2

補助対象事業



ア 市町村，観光協会及び観光地域づくり団体が，裏面の補助対象設備を設置する当該市町村内の事業者に対し，補助を行うもの。

補助は行わず，観光関連事業者の申請を取りまとめ，申請主体となることも可能です。

イ 観光関連事業者が対象設備の設置を行うもの。

3

補助率・補助限度額・申請期限



補助対象経費の2分の1（上限1万8千円，宿泊施設は5万円）

申請期限：令和6年2月29日（木）

予算が無くなり次第，募集を終了いたします。

4

その他



補助金の交付対象施設のうち必須要件を満たしている施設については、「かごしまサイクルステーション」，「鹿児島県サイクリストに優しい宿」として認定し，のぼり・ステッカーを配布します。認定施設については，県観光サイト内サイクルツーリズム特集ページで紹介いたします。

申請先等は裏面をご覧ください。

5

対象設備



宿泊事業者以外の観光関連事業者

設 備	規 格
サイクルスタンド	新品で、自立式スタンドが付いていない自転車の駐輪を可能とするもの。
フロアポンプ (空気入れ)	新品で、空気圧ゲージ付 (1,100kPaまで注入可能) 仏式・米式バルブ対応オートヘッド採用のもの。
自転車専用工具	新品で、下記の工具又は同等の機能を有するもの。 <ul style="list-style-type: none"> ・ タイヤレバー 3本組セット ・ 六角レンチセット (2/2.5/3/4/5/6/8) ・ プラスドライバー

宿泊事業者

設 備	規 格
自転車の保管設備	施設内外において、宿泊者が持ち込んだ自転車を施錠ができる場所もしくは客室に保管を可能とする整備を行うもの。
フロアポンプ (空気入れ)	新品で、空気圧ゲージ付 (1,100kPaまで注入可能) 仏式・米式バルブ対応オートヘッド採用のもの。
自転車専用工具	新品で、下記の工具又は同等の機能を有するもの。 <ul style="list-style-type: none"> ・ タイヤレバー 3本組セット ・ 六角レンチセット (2/2.5/3/4/5/6/8) ・ プラスドライバー

6

申請・問い合わせ先



〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1
 鹿児島県観光・文化スポーツ部 PR観光課
 「サイクルステーション等整備事業費補助金受付係」
 TEL : 099-286-3045
 MAIL : kg-tourism@pref.kagoshima.lg.jp

【申請要領・様式等】 県ホームページからダウンロードできます。
 鹿児島県 サイクルツーリズムで検索

鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会規約

(名称)

第1条 本会は、鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会（以下「協議会」という。）と称する。

(目的)

第2条 本協議会は、県内市町村及び関係団体等が連携・協力し、本県の自然・景観など豊かな地域資源を活かしたサイクルモデルルートを設定し、国内外へ地域の魅力を発信することにより、県内全域への自転車による周遊観光を推進し、交流人口の拡大を推進することを目的とする。

(内容)

第3条 前項の目的を達成するため、次に掲げる事項に関し、協議・検討する。

- (1) 鹿児島県におけるサイクルモデルルートの設定
- (2) サイクルツーリズムに係る情報発信
- (3) サイクルツーリズムに係る受入環境
- (4) その他サイクルツーリズム推進に係る事項

(組織)

第4条 協議会は、自転車及び観光に関わる関係機関をもって組織する。(別表1)

(任意入退会)

第5条 協議会は、任意に入退会することができる。

(座長)

第6条 協議会に座長を置き、会員の互選によりこれを定める。

2 座長に事故があるとき、又は座長が欠けたときは、座長があらかじめ指名する者が、その職務を代理する。

(部会)

第7条 協議会は、地域ごとに部会を設け、検討を行うことができる。

(事務局)

第8条 本会の事務を処理するために事務局を置く。協議会の事務局は鹿児島県観光・文化スポーツ部PR観光課内に置く。

(雑則)

第9条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、協議会が定める。

附 則

この規約は、令和3年7月8日から施行する。

令和4年4月1日 一部改正

別表 1 (第 4 条関係)

95 団体 (令和 4 年 4 月 1 日時点)

市町村	鹿児島市
	鹿屋市
	枕崎市
	阿久根市
	出水市
	指宿市
	西之表市
	垂水市
	薩摩川内市
	日置市
	曾於市
	霧島市
	いちき串木野市
	南さつま市
	志布志市
	奄美市
	南九州市
	伊佐市
	姶良市
	さつま町
	長島町
	湧水町
	大崎町
	東串良町
	錦江町
	南大隅町
	肝付町
	中種子町
	南種子町
	屋久島町
	大和村
	宇検村
	瀬戸内町
	龍郷町
喜界町	
徳之島町	
天城町	

市町村	伊仙町
	和泊町
	知名町
	与論町
国土交通省 九州地方整備局	鹿児島国道事務所
	大隅河川国道事務所
	川内川河川事務所
観光関連団体	公益社団法人 鹿児島県観光連盟
	公益財団法人 鹿児島観光コンベンション協会
	枕崎市観光協会
	株式会社まちの灯台阿久根
	一般社団法人 出水市観光特産品協会
	公益社団法人 指宿市観光協会
	一般社団法人 日置市観光協会
	一般社団法人 曾於市観光協会
	公益社団法人 霧島市観光協会
	いちき串木野市観光特産品協会
	一般社団法人 南さつま市観光協会
	一般社団法人 奄美群島観光物産協会
	一般社団法人 志布志市観光特産品協会
	南九州市観光協会
	一般社団法人 始良市観光協会
	一般社団法人 さつま町観光特産品協会
	肝付町観光協会
	屋久島観光協会
	喜界島観光物産協会
	一般社団法人 徳之島観光連盟
	一般社団法人 おきのえらぶ島観光協会
	株式会社薩摩川内市観光物産協会
	株式会社おおすみ観光未来会議
	一般社団法人 あまみ大島観光物産連盟
一般社団法人 いぶすき観光デザイン	
サイクル関係者	鹿児島県自転車競技連盟
	鹿児島県サイクリング協会
交通関係者	九州旅客鉄道株式会社鹿児島支社
	肥薩おれんじ鉄道株式会社
	鹿児島県旅客船協会
	日本エアコミューター株式会社

交通関係者	鹿児島空港ビルディング株式会社
	一般社団法人 鹿児島県タクシー協会
	公益社団法人 鹿児島県バス協会
その他関係団体	社会福祉法人 鹿児島県身体障害者福祉協会
	一般社団法人 鹿児島県視覚障害者団体連合会
	一般社団法人 鹿児島県聴覚障害者協会
鹿児島県警察本部	交通部交通規制課
鹿児島県	観光・文化スポーツ部PR観光課
	観光・文化スポーツ部スポーツ振興課
	総務部男女共同参画局暮らし共生協働課
	総合政策部交通政策課
	土木部道路維持課
	鹿児島地域振興局
	南薩地域振興局
	北薩地域振興局
	始良・伊佐地域振興局
	大隅地域振興局
	熊毛支庁
	熊毛支庁 屋久島事務所
	大島支庁

令和5年度第1回鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会参加者名簿

NO.	自治体(団体)名称	担当窓口(部署)	出席者氏名	備考	
1	鹿児島市	観光交流局 スポーツ課	主事	新村 駿允	Zoomでのオンライン参加
2	鹿屋市	農林商工部 ふるさとPR課 観光PR係	主任主事	福元 知葉	Zoomでのオンライン参加
3	枕崎市	水産商工課 観光交流係		守崎 侖	Zoomでのオンライン参加
4	阿久根市	商工観光課 観光推進係	主事	宮田 景大	Zoomでのオンライン参加
5	出水市	商工観光部 商工観光課 観光振興係			欠席
6	指宿市	産業振興部 観光課 観光PR係			欠席
7	西之表市	経済観光課			欠席
8	垂水市	水産商工観光課	主査	後迫 智洋	Zoomでのオンライン参加
9	薩摩川内市	観光物産課	グループ員	田畑 隆博	Zoomでのオンライン参加
10	日置市	総務企画部 商工観光課 観光戦略係			欠席
11	曾於市	土木課	補佐兼施設整備係長	入来 満	Zoomでのオンライン参加
12	曾於市	商工観光課 観光振興係	主査	田崎 啓太郎	Zoomでのオンライン参加
13	曾於市	教育委員会 生涯学習課 生涯スポーツ係	係長	前田 洋介	Zoomでのオンライン参加
14	霧島市	商工観光部 観光PR課 観光推進グループ	主査	今吉 健悟	Zoomでのオンライン参加
15	霧島市	商工観光部 観光PR課 観光推進グループ	主幹	隈元 秀一	Zoomでのオンライン参加
16	いちき串木野市	シティセールス課	主任	富吉 昭吾	Zoomでのオンライン参加
17	南さつま市	産業おこし部 観光交流課 観光交流係	係長	坂上 幸司	Zoomでのオンライン参加
18	南さつま市	産業おこし部 観光交流課 観光交流係	主任	小原 和彦	Zoomでのオンライン参加
19	南さつま市	産業おこし部 観光交流課 観光交流係	主事	服部 勇輝	Zoomでのオンライン参加
20	志布志市	港湾商工課 シティセールス室 観光特産品係	主査	百野 聡史	Zoomでのオンライン参加
21	奄美市	商工観光情報部 船観光課 観光政策係			欠席
22	南九州市	商工観光課 観光交流係	主事	上窪 友美	Zoomでのオンライン参加
23	伊佐市	地域振興課 観光特産PR係			欠席
24	姶良市	企画部 商工観光課	課長補佐兼観光係長	永田 浩	Zoomでのオンライン参加
25	姶良市	企画部 商工観光課	主査	緒方 隼介	Zoomでのオンライン参加
26	さつま町	商工観光PR課 観光PR係	係長	松尾 弘彦	Zoomでのオンライン参加
27	長島町	水産観光課			欠席
28	湧水町	商工観光PR課			欠席
29	大崎町	商工観光課 広報観光係	主事	坪内 幸之介	Zoomでのオンライン参加
30	東串良町	企画課 地域振興兼企画広報係			欠席
31	錦江町	観光交流課			欠席
32	南大隅町	企画観光課 観光推進係	主事	大倉野 史晃	Zoomでのオンライン参加
33	肝付町	林務水産商工課 商工観光係	係長	中原 友裕	Zoomでのオンライン参加
34	中種子町	企画課	係長	利川 英樹	Zoomでのオンライン参加
35	南種子町	企画課 観光経済係			欠席
36	摩久島町	観光まちづくり課 観光推進係	主査	田川 優太	Zoomでのオンライン参加
37	大和村	企画観光課	主査	藤村 雄樹	Zoomでのオンライン参加
38	宇検村	企画観光課	主査	竹下 世利人	Zoomでのオンライン参加
39	瀬戸内町	水産観光課 観光振興係			欠席
40	龍郷町	企画観光課			欠席
41	喜界町	企画観光課	主事	登 聖佳	Zoomでのオンライン参加
42	徳之島町	おもてなし観光課			欠席
43	天城町	商工水産観光課	課長	中 秀樹	Zoomでのオンライン参加
44	天城町	商工水産観光課	主事	真田 裕史	Zoomでのオンライン参加
45	伊仙町	きゅらまち観光課			欠席
46	和泊町	企画課			欠席
47	知名町	企画振興課			欠席
48	与論町	商工観光課	主事	吉田 風沙	Zoomでのオンライン参加
49	国土交通省九州地方整備局鹿児島国道事務所	交通対策課	交通対策課長	重華 通	Zoomでのオンライン参加
50	国土交通省九州地方整備局鹿児島国道事務所	交通対策課	係長	福山 和樹	Zoomでのオンライン参加
51	国土交通省九州地方整備局鹿児島国道事務所	交通対策課	専門員	下玉利 光恵	Zoomでのオンライン参加
52	国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所	総務課	総括地域防災調整官	大宅 康平	Zoomでのオンライン参加
53	国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所	道路管理課	課長	矢野 幸樹	Zoomでのオンライン参加
54	国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所	道路管理課	専門職	長友 幸一	Zoomでのオンライン参加
55	国土交通省九州地方整備局川内河川事務所	調査課 調査係			欠席
56	公益社団法人鹿児島県観光連盟	国内誘致部	部長	橋口 多恵子	Zoomでのオンライン参加
57	公益社団法人鹿児島県観光コンベンション協会	観光推進部	部長	大坪 聡	Zoomでのオンライン参加
58	枕崎市観光協会				欠席
59	株式会社まちの灯台阿久根				欠席
60	一般社団法人 出水市観光特産品協会	観光部			欠席

NO.	自治体（団体）名称	担当窓口（部署）		出席者氏名	備考
61	公益社団法人 指宿市観光協会	総務	事務局長	眞森 一仁	Zoomでのオンライン参加
62	一般社団法人日置市観光協会	事務局	事務局長	野元 暢	Zoomでのオンライン参加
63	一般社団法人曾於市観光協会	観光部門			欠席
64	公益社団法人霧島市観光協会	本部事務局	主任	川原 健一	Zoomでのオンライン参加
65	一般社団法人志布志市観光特産品協会	総務・観光			欠席
66	いちき串木野市観光特産品協会	事務局		鶴 徳光	Zoomでのオンライン参加
67	一般社団法人南さつま市観光協会	観光物産係	事務局長	出原勝博	Zoomでのオンライン参加
68	一般社団法人奄美群島観光物産協会	観光部			欠席
69	一般社団法人南九州市観光協会	観光部	職員	丸山 広大	Zoomでのオンライン参加
70	一般社団法人始良市観光協会	事務局			欠席
71	一般社団法人さつま町観光特産品協会	事務局			欠席
72	肝付町観光協会	事務局	事務局長	加治木 智子	Zoomでのオンライン参加
73	屋久島観光協会	事務局	事務局長	西川 泰伸	Zoomでのオンライン参加
74	霧島観光物産協会	事務局	事務局長	田邊 大智	Zoomでのオンライン参加
75	一般社団法人徳之島観光連盟		島コーディネーター	福本 慶太	Zoomでのオンライン参加
76	一般社団法人徳之島観光連盟		事務局長	林 美樹	Zoomでのオンライン参加
77	一般社団法人おきのえらぶ島観光協会	事務局			欠席
78	株式会社薩摩川内市観光物産協会	観光旅行事業部			欠席
79	株式会社おすみ観光未来会議	事業推進部	チーフアドバイザー兼総務課長	小竹 真吾	Zoomでのオンライン参加
80	一般社団法人あまみ大島観光物産連盟	事務局			欠席
81	一般社団法人いぶすき観光デザイン	総務部	局長	園田 浩一郎	Zoomでのオンライン参加
82	鹿児島県自転車競技連盟				欠席
83	鹿児島県サイクリング協会	事務局			欠席
84	九州旅客鉄道株式会社 鹿児島支社	営業運輸課		横山 真二	Zoomでのオンライン参加
85	肥薩おれんじ鉄道株式会社	営業部営業戦略室	係長	鬼塚 崇	Zoomでのオンライン参加
86	肥薩おれんじ鉄道株式会社	営業部	係長	田原 初麿	Zoomでのオンライン参加
87	鹿児島県旅客船協会	事務局	事務局長	平田 勇夫	Zoomでのオンライン参加
88	日本エアコミュニケーション株式会社	地域連携部			欠席
89	鹿児島空港ビルディング株式会社	事業広報部 事業広報課	主任	広谷 沙耶	Zoomでのオンライン参加
90	一般社団法人鹿児島県タクシー協会	事務局			欠席
91	公益社団法人 鹿児島県バス協会				欠席
92	鹿児島県警察本部	交通部 交通規制課 都市規制係	係長	丸山 泰啓	Zoomでのオンライン参加
93	鹿児島県	観光・文化スポーツ部 スポーツ振興課 スポーツツーリズム係	主査	末永 美知	Zoomでのオンライン参加
94	鹿児島県	総合政策部 交通政策課 幹線交通係	主査	上野 仁誌	Zoomでのオンライン参加
95	鹿児島県	土木部 道路維持課 改良施設係	技術主幹兼改良施設係長	渡辺 典彦	Zoomでのオンライン参加
96	鹿児島県	土木部 道路維持課 改良施設係	技術専門員	福永 秋一	Zoomでのオンライン参加
97	鹿児島県	男女共同参画局 暮らし共生協働課 暮らし安全係	主幹	宮内 美穂子	Zoomでのオンライン参加
98	鹿児島県鹿児島地域振興局	総務企画部 総務企画課 地域振興係	主事	高風 皓世	Zoomでのオンライン参加
99	鹿児島県南薩地域振興局	総務企画部 総務企画課 地域振興係	係長	星枝 明美	Zoomでのオンライン参加
100	鹿児島県北薩地域振興局	総務企画部 総務企画課 地域振興係	主幹兼地域振興係長	兒玉 直也	Zoomでのオンライン参加
101	鹿児島県北薩地域振興局	総務企画部 総務企画課 地域振興係	主査	米盛 洋子	Zoomでのオンライン参加
102	鹿児島県始良・伊佐地域振興局	総務企画部 総務企画課 地域振興係	主幹兼地域振興係長	佐藤 浩士	Zoomでのオンライン参加
103	鹿児島県始良・伊佐地域振興局	総務企画部 総務企画課 地域振興係	主事	園科 由紀奈	Zoomでのオンライン参加
104	鹿児島県大隅地域振興局	総務企画部 総務企画課 地域振興係	主事	三月田 千夏	Zoomでのオンライン参加
105	鹿児島県熊本支庁	総務企画部 総務企画課 地域振興係	係長	石田 和幸	Zoomでのオンライン参加
106	鹿児島県熊本支庁	総務企画部 総務企画課 地域振興係	主事	東馬場 奈菜	Zoomでのオンライン参加
107	鹿児島県熊本支庁	屋久島事務所 総務企画課	主幹	池田 洋一	Zoomでのオンライン参加
108	鹿児島県大島支庁	総務企画部 総務企画課 高工観光係	係長	納山 尚樹	Zoomでのオンライン参加
109	鹿児島県大島支庁	総務企画部 総務企画課 高工観光係	主査	今村 菜月	Zoomでのオンライン参加
110	社会福祉法人鹿児島県身体障害者福祉協会	スポーツ情報課			欠席
111	一般社団法人鹿児島県視覚障害者団体連合会	事務局		叶 亜寿香	Zoomでのオンライン参加
112	一般社団法人鹿児島県聴覚障害者協会	事務局長	事務局長	寿福 三男	Zoomでのオンライン参加

令和5年度 第1回鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会 議事録

日 時	令和5年5月24日（水） 14:00～15:00
開催場所	オンライン（Zoom）開催
出席者	鹿児島県 観光・文化スポーツ部 PR観光課 廻 課長、東條 主幹、鹿島 主事 CCCチャリン・コ・クリエイション株式会社 代表取締役社長 黒川 剛 様 ANAあきんど株式会社 営業統括室 地域創生部 企画チーム 白井、二村、蝶良
議事内容	<p>1. 協議会 議題内容</p> <p>(1) 開会</p> <p>(2) 議事</p> <p>1.開会挨拶 【鹿児島県 観光・文化スポーツ部 PR観光課 廻 課長】</p> <p>2.協議事項</p> <p>①モデルルート（錦江湾奥ルート）の承認について・・・資料1 【説明者：錦江湾奥会議 観光専門部会 事務局 始良市 商工観光課 永田 課長補佐兼観光係長】</p> <p>②サイクルモデルルートに係る走行環境整備方針について・・・資料2 【説明者：鹿児島県 観光・文化スポーツ部 PR観光課 東條 主幹】</p> <p>3.報告事項</p> <p>①令和5年度事業計画について・・・資料3、別紙1～3 【説明者1：鹿児島県 観光・文化スポーツ部 PR観光課 東條 主幹】 【説明者2：大島支庁 総務企画課 商工観光係 納山 係長】</p> <p>4.座長総括 【CCCチャリン・コ・クリエイション株式会社 代表取締役 黒川様】</p> <p>(3) 閉会</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【会議資料】</p> <p>資料1 モデルルート（錦江湾奥ルート）の承認について</p> <p>資料2 サイクルモデルルートに係る走行環境整備方針について</p> <p>資料3 令和5年度事業計画について</p> <p>別紙1 かがしまサイクルステーションチラシ</p> <p>別紙2 鹿児島県サイクリストに優しい宿チラシ</p> <p>別紙3 鹿児島県サイクルステーション等整備支援事業補助金チラシ</p> <p>別紙4 鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会規約</p> <p>別紙5 令和5年度 第1回鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会 参加者名簿</p> </div>

※協議事項の承認については、本協議会終了後の議事録・各種資料の配信時に、
受託事業者であるANAあきんど担当者よりご案内いたしますので、ご回答をよろしくお願いいたします。

(1) 開会

(2) 議事

1.開会挨拶（県 PR観光課 巡 課長より）

座長の黒川様においては、県内のサイクルツーリズム 振興にご尽力いただき感謝申し上げます。

本県の観光業界を取り巻く情勢として、長引くコロナ禍の影響に加え、不安定な海外情勢や原油価格・物価の高騰、深刻な人員不足の影響等も受け、依然として厳しい状況が続いている。一方で、今年3月の県内主要ホテルの宿泊施設がコロナ禍前の9割程度まで回復しており、今年のゴールデンウィーク期間中も県内の観光地は多くの観光客で賑わっていた。

また、5月8日より新型コロナウイルスの感染症法上の取り扱いが5類に引き下げられ、ウィズコロナのもと安心・安全と経済活動の両立に向け、観光振興にしっかり取り組む必要があると考えており、県としては実施中の全国旅行支援「今こそ鹿児島の旅」を中心に継続的な需要喚起策として取り組むこととしている。

本日のテーマであるサイクルツーリズムの取り組みでは、協議会立ち上げの令和3年度から今年で3年目となる。これまでの取り組みとして、サイクリスト向けのモデルルートとして県内計23ルートを決定し、HPにおいてモニターツアー等の情報発信を行った。昨年度からはサイクルステーション、宿泊施設におけるサイクルスタンドや自転車の専用工具等の購入に係る助成制度も創設した。また、サイクルナビゲーター養成研修等のサイクリストの受入環境整備にも取り組んでいるところである。

そして、今年10月には本県で鹿児島国体が開催予定であり、5月21日に南さつま市で開催された「ツール・ド・南さつま 2023」にあわせて、国体のデモンストレーションスポーツとしてサイクリングイベントが実施された。また、国体の正式競技である自転車のロードレースは、錦江町・鹿屋市・南大隅町・肝付町の大隅広域特設ロードレースコースで開催される。

さらに、今年10月上旬には国際ロードサイクルレースとして、「ツール・ド・九州2023」が開催されるほか、九州各地域のサイクリング周遊型の旅行商品の販売も現在進められている。

このように、今年はサイクルツーリズムに関する機運も高まると考えられる。本日は、今年度の事業計画を説明するが、県としては、本協議会の皆さまをはじめ、地域の皆さまと連携を図りながらサイクルツーリズムの振興に取り組んで参りたい所存である。

本日の協議会が有意義なものになることを祈念し、開会の挨拶とする。

2.協議事項

●黒川座長

本日参加が叶わなかった会員の皆さまに承認にあたりご意見を頂きたく、この後ご説明いただく協議事項計2点については協議会 終了後の議事録・各種資料の配信時にあわせて、受託事業者であるANAあきんど担当者よりご案内する。

①モデルルート（錦江湾奥ルート）の承認について・・・資料1に沿って説明

【説明者：錦江湾奥会議 観光専門部会 事務局 始良市 商工観光課 永田 課長補佐兼観光係長】

○質疑応答

●黒川座長

錦江湾奥地域部会は4つの自治体による連合体であるため、当該コースのおススメポイントがあれば、ぜひご発言いただきたい。

●垂水市 水産商工観光課 後迫 主査

当該ルートは桜島を 周でき、かつ、各方面から桜島を望むことができる素晴らしいルートとしてご評価をいただいている。皆さまから承認をいただけた後は、立ち寄りポイントの修正等によりブラッシュアップしたい。

●黒川座長

大隅半島は比較的交通量が少なく、道路整備も進んでおり、サイクリストが走りやすい環境である。

当該ルートは、霧島エリアにおける交通量が今後の課題になりうるが、起点が垂水市側であるため、常に左側に素晴らしい景色をみながら回ることができ、案内標識の見落としも少なく、車の飛び出しも少ないため、安全を確保しやすい。鹿児島県のシンボルとなりうるルートの一つだと考える。

●国土交通省 九州地方整備局 鹿児島国道事務所 交通対策課 福山係長

当該ルートは、国道事務所直轄管理の国道を中心に選定していただいたことから、より良い走行環境整備に向けて取り組みたいと考える。起点が垂水新港、終点が鴨池港ではあるが、桜島フェリーを活用することでショートカットもできるため、今後はフェリーを活用したオプションルートがあるとより良いと感じる。

②サイクルモデルルートに係る走行環境整備方針について・・・資料2に沿って説明

【説明者：鹿児島県 観光・文化スポーツ部 PR観光課 東條主幹】

●鹿児島県 観光・文化スポーツ部 PR観光課 東條主幹

昨年度の第1回協議会では案内看板の整備方針案を協議頂いたが、本年度は路面標示の整備方針案について協議いただきたい。資料2は、県が管理する道路を標準例としてまとめているが、県では、路面標示は道路維持課、案内看板はPR観光課が担当する。 ※本議案について、道路維持課からの補足等はなし。

○質疑応答

●南さつま市 産業おこし部 観光交流課 観光交流係 小原主任

今回の路面表示整備方針については、県管轄の道路を対象とするものであると理解した。モデルルートは路面表示の整備方針案の提示前に、ある程度のコースが決定されてきたと認識している。モデルルートには市管轄の道路が含まれているが、これらはどのようなスケジュールで整備を進めるのか、また、市の建設部門に対してどのように共有するのか、現時点でわかる範囲でご説明いただきたい。

●鹿児島県 観光・文化スポーツ部 PR観光課 東條主幹

対象となる区間により対応が異なると認識しているが、道路維持課はどのような認識か。

●鹿児島県 土木部 道路維持課 改良施設係 渡辺 技術主幹兼改良施設係長

あくまでも今回の提案については、鹿児島県の道路管理者の基本方針であり、県内計24ルートを対象とした技術的な方針案として提案させていただいた。

よって、ご質問いただいた市町村管轄の道路については、各現場の状況の取扱いにより異なるため、あくまでも技術的な観点からの標準的な方針案であるご認識いただいた上で、各道路管理者の判断により適宜設置を検討いただければと考える。

3.報告事項

①令和5年度事業計画について・・・資料3、別紙1～3に沿って説明

【説明者1：鹿児島県 観光・文化スポーツ部 PR観光課 東條主幹】

【説明者2：大島支庁 総務企画課 商工観光係 納山係長】

●黒川座長

短い時間の説明であったが、ページをめくるだけでワクワクするような楽しい企画ばかりで、すべて実現するだけでも素晴らしい取り組みになると考えられる。

報告事項ではあるが、本日の協議事項の決議を取る際に質問事項や提案事項等の自由記入欄へ、感想やご意見、意気込みなども記載いただけると、今後の取り組み全体にも反映できることがあると考える。

4.座長総括（CCCチャリン・コ・クリエイション株式会社 代表取締役 黒川様より）

県全域でのサイクルツーリズムの取り組みも今年で3年目となった。過去2年間を通じて、ほぼ県内全域の環境等を調査し、地域の皆さまと走りやすいコースや立ち寄りポイント、体験スポット、食、歴史等、地域ならではの特色あるコンテンツを発掘してきた。

サイクルツーリズムは、地域全体へ貢献しうる観光振興の代表例になると考えている。日本や世界で自転車ブームが来ており、47都道府県のうち多くの市町村が自転車を活用した街おこしや観光事業を推進している。環境問題や健康課題の解決、観光誘客集客の促進など、自転車は広く街づくりに欠かせないアイテムになっているため、今後は各地域における特性を生かした企画の立案を積極的に行っていただきたい。

今や、訪問者が滞在先を手軽に検索でき、滞在後にSNS等を通じて写真や地域の魅力を拡散するようになった。鹿児島においても、各地域でのサイクルツーリズムに関する取り組みが広告媒体を通じて幅広いセグメントへ訴求されることで、地域経済が潤うのではないだろうか。

本部会で共有された取り組みが、絵に書いた餅とならないように地域で一丸となって実践し、盛り上げていければと考える。

(3) 閉会